

# 人類学演習Ⅱ 談話会

日時:11月12日(金) 16:30~18:00

場所:理学部 2号館323号室

<講演者>

井原泰雄 先生

(進化人類学研究室)

<講演テーマ>

言語能力の進化

<要旨>

Pinker and Bloom (1990)によれば、ヒトの言語能力はコミュニケーションのための適応であり、自然淘汰によって進化したものである。この「適応仮説」に対して、当たり前だと言う人もいれば、極めて懐疑的な反応を示す人もいる。今回は、適応仮説の内容をより明確に言い換えることを目指して、数式を使った検討を行う。ヒトの言語能力を三つの構成要素(非言語的コミュニケーション、象徴、文法)に分解し、各要素の自然淘汰(または他の要因)による進化について考察する。これまでに、言語能力の進化に関する数理モデルや計算機シミュレーションを用いた研究が数多く発表されているが、そのうち、非言語的コミュニケーション、象徴的コミュニケーション、普遍文法の出現に関する研究を簡単に紹介する。

今後の予定 11月19日 古澤拓郎先生 担当:木花 牧雄(植田研)